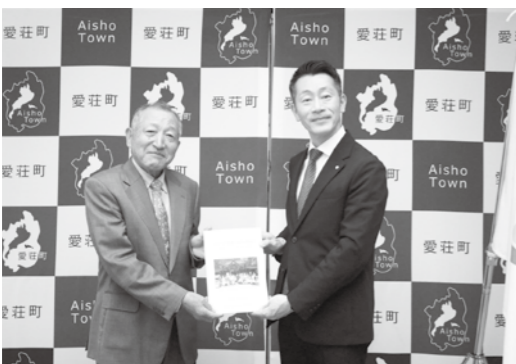


▼ 歴史ウォークの歩みを記録誌に



地域の魅力を伝える記念誌を町へ寄贈

3月31日、愛荘町のボランティア団体「さざなみ」が、3月末での活動終了に伴い、同団体が開催してきたイベント「歴史ウォーク」の記録をまとめた記念誌を、町長へ手渡されました。

歴史ウォークは、高齢者の健康増進と地域の歴史の発見を目的に、湖東地域を中心に県内の歴史や文化を訪ね歩く催しとして実施され、これまでに延べ約700人が参加し、地域の魅力を再発見する機会となりました。

同団体の北村 耕二さんは、「意外に知らない魅力的な地域史を、歴史ウォークを通じて知ることができました。この記録誌を通して、身近な地域の魅力を感じてください」と話されました。

▼ 町長に成績報告をされた西川さん



さらなる活躍へ意気込み

4月8日、「JFA U-12 ガールズゲーム2025関西 第42回関西少女サッカー大会」で優秀な成績を収め、「第15回びわ湖カップ なでしこサッカー大会 (U-12)」に出場された西川 翠さん（入賞時点・秦荘西小学校6年生）が、有村町長へ成績報告を行いました。

西川さんは、「中学校でもサッカーと勉強を両立できるように頑張りたいです」と、今後に向けた抱負を語られました。

有村町長は、「人生の早い時期からやりたいことに取り組めること、そしてそれを周囲が応援してくれることは大変素晴らしいことだと思います。みんなを引っ張っていきような存在になってください」と激励されました。今後のさらなるご活躍を期待しています。

▼ 県道沿いに花の苗を植える子どもたち



みんなのチカラで花いっぱいのに道に

4月3日、「ふれあいハウスとよくに」で子ども食堂が開催され、「みんなのチカラで素敵な道を作ろう」をテーマに、県道沿いで花の苗植えが行われました。

子どもたちは、パンジーやマーガレットの苗の一つひとつ丁寧に植えながら、まわりの草もきれいに刈りとり、「お花で道がきれいになって嬉しい!」「草むしりも楽しい!」と話しながら、みんなで協力して活動に取り組んでいました。

花植えのあとは、地域の大人の皆さんと一緒にテーブルを囲み、唐揚げや餃子の入ったお弁当を、おいしそうに頬張っていました。

今回の活動を通して、子どもたちは、みんなで協力してまちをきれいにする大切さを実感しました。

▼ 元気に手を挙げて横断歩道を渡る児童



みんなで学ぼう交通ルール

4月16日、秦荘西小学校で、1年生を対象とした交通安全教室が行われました。

教室では、島川駐在所のお巡りさんから、横断歩道の渡り方や、ラウンドアバウトの安全な渡り方について教えていただきました。

児童たちは、「くるくる回る道、通ったことある!」「信号がないけど車が曲がれるところだ!」と、元気いっぱいに話していました。

教室で学んだあとは、ペアになって実際に横断歩道を渡る練習をし、「右・左・右」をしっかり確認しながら、大きく手を挙げて安全に渡っていました。

今回の交通安全教室を通して、児童たちは交通ルールの大切さを楽しく学びました。

▼ やまいもの定植のために土に穴を空ける学生



学生と地域がつながる やまいもプロジェクト始動

4月17日、龍谷大学農学部と秦荘やまいも振興会が、「しがのふるさと支え合いプロジェクト協定」を締結し、やまいもの定植実習が行われました。

このプロジェクトは、「伝統野菜が途絶えてしまうかもしれない」という思いをきっかけに、秦荘やまいも振興会と学生たちの関心につながり、実現したものです。

参加した学生は、「これまでさまざまな作物の栽培に取り組んできましたが、やまいもを一から育てるのは初めてで、とても楽しみにしていました」と話していました。

地域と学生がともに学び合いながら進めるこのプロジェクトが、どのような広がりを見せていくのか、今後の展開がますます楽しみです。

▼ がん検診啓発のぼり旗を設置する生徒



「検診を受けよう」の想いを込めて

愛知高等学校の生徒が、保健体育科の授業の一環として、がん検診啓発のぼり旗を制作しました。

この取組は、「誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり」について学ぶ授業の中で行われたものです。

4月21日には、「住民の皆さんに検診を受けてもらい、健康に気を付けるきっかけになってほしい」という生徒の願いが込められたのぼり旗が、町内各所に設置されました。

また、生徒たちは、健康推進員協議会の皆さんと一緒に活動することで、健康づくりにはさまざまな人や組織が関わり、支え合っていることを学ぶ機会にもなりました。



▼ 交差点を勢いよく進む曳山と若衆



色鮮やかな曳山が駆ける 堅井之大宮 春季大祭

4月19日、堅井之大宮（軽野神社）で、「堅井之大宮 春季大祭」が開催されました。

このお祭りは、五穀豊穰と氏子繁栄を願い、明治時代ごろから大切に受け継がれてきた伝統行事です。

当日は、字ごとの集落から色とりどりの7基の曳山が出発し、数時間かけて堅井之大宮へと集結しました。

若衆の皆さんは、「ヨーイヤセーノ!」の力強い掛け声に合わせて、大きな曳山を勇ましく曳き、その迫力ある動きに観客からも大きな歓声が上がっていました。

伝統文化を大切に守りながら、次の世代へと受け継ぐ地域の絆が感じられるお祭りとなりました。



▼ みんなの夢を乗せた中山道沿いののれんアート



中山道を彩る「のれんアート」

4月25日から5月6日まで、中山道沿いで「のれんアート」が開催されました。

今年のテーマは「夢」で、「花に囲まれて暮らしたい」「恐竜に会ってみたい」「世界に平和が訪れてほしい」など、子どもから大人まで、さまざまな願いが込められたのれんが街道を彩りました。

また、のれんのそばには愛知川保育園の園児たちが作った風鈴も飾られ、風に揺られて響く「ちりん」という涼やかな音色が、初夏の訪れを感じさせていました。

やわらかな風とともに、訪れた人たちはゆったりとした街道歩きを楽しんでいました。

